太陽から地球までシンポジウム

日　時：１０月２７日（月）９時３０分 ～ ２８日（火）１６時
場　所：陸別町タウンホール（北海道陸別町）
主　催：名古屋大学太陽地球環境研究所、国立環境研究所、情報通信研究機構、
　　学術創成研究「宇宙天気予報の基礎研究」、陸別町

１０月２７日（月）

受付開始８時４５分

０．オープニング

9:30-9:55

はじめに：上出洋介（世話人代表）
アドレス：山本進一（名古屋大学副総長）
アドレス：大塚柳太郎（国立環境研究所理事長）
歓　　迎：金澤紘一（陸別町長）

１．オーロラ・磁気嵐　　座長：菊池崇（名大STE研）

09:55-10:15　塩川和夫（名大STE研）
陸別でのオーロラ・大気光観測のレビュー（レビュー）

10:15-10:40　M. Connors (Athabasca University, Canada)
Modeling Subauroral Perturbations of Substorm Current Systems（チュートリアル）

10:40-11:05　B.-H.Ahn (Kyungpook National University, Korea)
Response of Geomagnetic Activity to the Solar Wind Parameters（チュートリアル）

11:05-11:20　宮下幸長（ISAS/JAXA)、町田忍・永田大祐（京大理)、家田章正（名大STEL)、斉藤実穂（ISAS/JAXA)、上出洋介（京大RISH)、能勢正仁（京大理)、K.Liou (JHU/APL)、C. T. Russell (UCLA)、篠原育・向井利典（ISAS/JAXA)、H. U. Frey (UCB)、藤本正樹（ISAS/JAXA)、S.P.Christon (FAR)、斎藤義文（ISAS/JAXA)
磁気圏近尾部プラズマシートにおける磁場双極子化に伴う圧力変化

11:20-11:45　三好由純（名大STE研）
ジオスペースの高エネルギー粒子環境（チュートリアル）

11:45-12:00　新堀淳樹・菊池崇・西村幸敏・辻裕司（名大STE研)、松岡彩子（ISAS/JAXA)
磁気嵐時における内部磁気圏電場構造について

13:00-13:15　橋本久美子（吉備国際大）ほか
オーロラサブストームにともなう昼側赤道の西向きジェット電流

13:15-13:30　河野英昭（九大理、九大宙空環境セ)、竹本啓助・前田直哉（九大理)、高崎聡子（情報・システム研究機構)、阿部修司・魚住禎司（九大宙空環境セ)、Shinichi Ohtani (JHU/APL)、湯元清文（九大宙空環境セ、九大理）
MAGDAS/CPMN地上磁場観測網によるULF波動観測に基づく磁気圏プラズマ密度の推定

13:30-13:55　渡部重十（北大院理）
熱圏電離圏結合過程について（チュートリアル）

２．大気科学　　座長：中根英昭（国立環境研究所）

14:10-14:30　中根英昭（国立環境研究所）

陸別等における成層圏オゾン層モニタリング（レビュー）

14:30-14:50　長濱智生（名大STE研）

名大ＳＴＥ研高分解能FTIR による大気微量分子の長期変動観測（レビュー）

14:50-15:15　長谷部文雄（北大地球環境院）

オゾンホール発見の歴史から学ぶ（チュートリアル）

15:15-15:40　水野亮（名大STE研）

成層圏・中間圏ミリ波観測のグローバル展開（仮）（チュートリアル）

15:40-16:05　小出孝（気象庁オゾン層情報セ）

オゾン層に関わる最近の話題（チュートリアル）

16:20-16:35　宮川幸治（気象庁高層気象台）

反転観測から見た日本上空のオゾン層の特徴

16:35-16:50　Boyan Tatarov・中根英昭・Chan Bong Park・杉本伸夫・松井一郎（国立環境研究所）

Lidar Observation of Long-Term Trends and Variations of Stratospheric Ozone and Temperature over Tsukuba

16:50-17:05　鈴木勝久・長浜芳寛（横国大）

陸別・母子里FTIRデータに基づく大気微量成分の変動解析

17:05-17:20　杉田考史（国立環境研究所）

近年の大気組成観測衛星と陸別での観測との将来展望について

17:20-17:35　小野雅司（国立環境研究所）

有害紫外線モニタリング

特 別 講 演

18:30-19:20　尾関章（朝日新聞論説副主幹）

小さな町の大きな空　～　地域から地球を見つめる時代

司会：佐藤麻奈美（銀河の森天文台）

１０月２８日（火）

３．レーダー科学　　座長：塩川和夫（名大 STE 研）

9:30-9:50　西谷望（名大 STE 研）

北海道-陸別短波レーダー観測のレビュー（レビュー）

9:50-10:20　山岸久雄（極地研）

短波レーダーの測定技法の進展と北海道-陸別短波レーダーに期待するもの（チュートリアル）

10:20-10:35　小川忠彦（NICT）、西谷望（名大 STE 研）

北海道-陸別短波レーダーが捉えたオホーツク海上空の電離圏プラズマ擾乱

10:35-10:50　大塚雄一・ 西谷望（名大 STEL 研）、 小川忠彦（NICT）

2007 年 1 月 13 日の千島列島東方地震後に GPS と北海道-陸別 HF レーダーで観測された電離圏変動

10:50-11:05　　片岡龍峰（理研）、細川敬祐（電通大）、西谷望・三好由純（名大 STE 研）

磁気嵐に伴うサブオーロラ帯高速プラズマ流の北海道レーダー観測

11:05-11:20　　市原章光・西谷望・小川忠彦（名大 STE 研）、津川卓也（NICT）

北海道-陸別 HF レーダーで観測された中規模伝搬性電離圏擾乱の初期解析結果

４．宇宙天気　　座長：渡部重十（北大院理）

11:35-12:00　　菊池崇（名大STE研）

宇宙嵐と宇宙天気予報研究(チュートリアル)

13:00-13:20　　亘慎一（NICT）ほか

北海道における地磁気誘導電流(GIC)観測（レビュー）

13:20-13:45　　藤井郁子（地磁気観）

宇宙天気と磁気探査（チュートリアル）

13:45-14:10　　柴田一成（京大理花山天文台）

太陽活動と宇宙天気(チュートリアル)

14:10-14:35　　草野完也（JAMSTEC）

宇宙天気モデリングと数値予測への挑戦（チュートリアル）

14:50-15:05　　片岡龍峰（理研）、三好由純（名大STE研）

太陽風と放射線帯の宇宙天気予報

15:05-15:20　　Antolin Patrick（京大理花山天文台）

The Role of Torsional Alfven Waves in Coronal Heating

15:20-15:35　　阿南徹・北井礼三郎・一本潔・上野悟・永田伸一・石井貴子・萩野正興・小森裕之・西田圭佑・松本琢磨・大辻賢一・中村太平・川手朋子・渡邉皓子・磯部洋明・柴田一成（京大理花山天文台）

スピキュールジェット

15:35-15:50　　堀智昭（名大STE研）ほか

DP2 Variations Observed by King Salmon HF Radar and RapidMag